



とびっくす

No.117

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和5年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果

～宍道湖のヤマトシジミ資源は減少傾向に～

島根県水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の秋季調査を10月5・10・11日に実施しましたので結果を報告します。

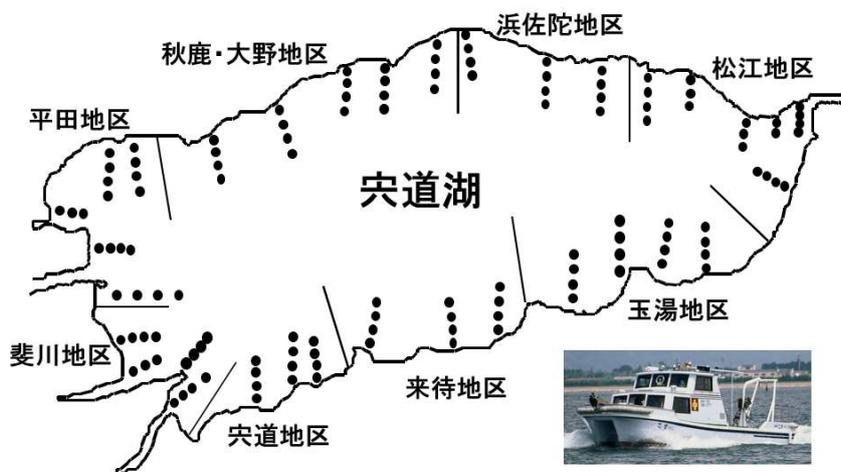


図1 調査地点

試験船「ごず」

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において試験船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1m²)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでヤマトシジミをサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和5年度秋季のヤマトシジミの資源量(表)は約4.7万トン、598億個が生息していると推定されました。本年春季(約6.3万トン)と比べると、約1.4万トン(22%)の減少、昨年秋季(約7.2万トン)からは約2.5万トン(35%)の減少で推移しています(図2)。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約2.9万トン、96億個でした。これは、平成14年以降の、秋季資源量の過去21年平均値(約1.9万トン)の154%でしたが、昨年秋季(約4.6万トン)からは大幅に減少していました。

表 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	5,624	368
	殻長12mm以上17mm未満	11,875	133
成貝	殻長17mm以上(漁獲対象)	29,154	96
	成貝合計	41,028	230
全資源量		46,652	598

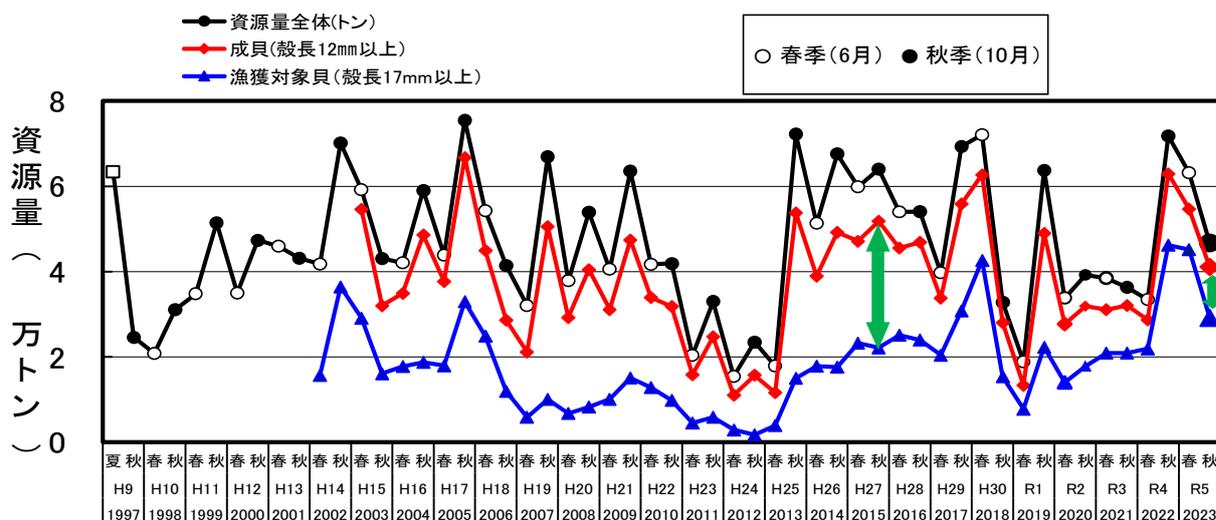


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今季の漁獲対象資源重量は本年春と比較して 35%の減少、資源量全体についても 26%の減少となったものの、漁獲対象資源は平成 14 年以降の秋季調査の中で 5 番目に高く、過去 21 年間の平均の 154%でした(図 2、図 3 青枠部分)。

一方で、漁獲対象となる直前の小型成貝(殻長 12 mm 以上 17 mm 未満)の個体数密度は昨年秋季に比べると大きく減少しています(図 3 緑枠部分)。また、重量についても資源全体が安定的に 6 万トン前後で維持されていた平成 25 年～28 年よりも低くなっています(図 2:成貝と漁獲対象貝との差分、上下緑矢印)。

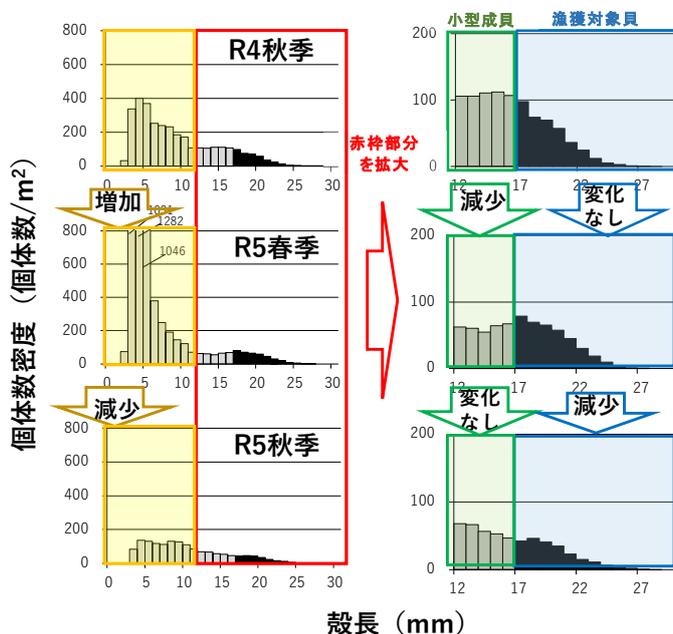


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R4年秋季～R5年秋季 全調査地点の平均)

今後の見通し

現在のところ、漁獲量は高水準にある漁獲対象資源に支えられ比較的安定していますが、小型成貝の数量は昨年秋から低下傾向にあり、中期的な動向は楽観できません。また未成貝(殻長 12mm 未満)の個体数密度についても、昨年秋と比較すると著しい低下を示しており(図 3 黄枠部分)、長期的にも懸念を拭えない状況です。

今後も引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成貝資源の保護に向けた生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

